

2022 オールスターナイト陸上

第 62 回大会実業団・学生対抗陸上競技大会

(2022 年 8 月 6 日 \oplus 開催)

新型コロナウイルス感染症への対応策

2022 年 7 月 27 日

日本実業団陸上競技連合

日本学生陸上競技連合

【はじめに】

過去 2 年間に蓄積された知見などを踏まえ、感染症の拡大予防に努め、大会を安全に開催します。大会にかかわる関係者が、それぞれに感染拡大防止の当事者意識を持って、参加してください。少しでも体調が思わしくないときは、来場を見合わせてください。

この大会の新型コロナウイルス感染症対策は、日本陸上競技連盟の「陸上競技活動開催のガイダンス 競技会開催について(第 4 版)」(2022 年 5 月 2 日付)に基づく。

■ 1 ■ 基本的な対策を怠りなく

▽適切なマスクの着用、こまめな換気、手指消毒の励行、「3密」状態の回避、といった感染症対策の基本大原則の順守を徹底する。

■ 2 ■ 体調管理チェックシートの取り扱い。

大会1週間前（7月30日[⊕]～）からの検温など体調管理を各自おこなう。

参加カテゴリーごとの対応は以下の通り。

また、大会終了後1週間（8月13日[⊕]まで）も検温など健康観察を継続する。

※いただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症対策にのみ使用し、そのほかの目的では使用しません。

大会終了後1週間の健康観察期間が経過した後、紙のものは裁断処理、電子データは消去処理します。

【競技者・監督・コーチ・チームスタッフ】

▽グーグル・フォーム（Google form）=下記 URL=による「体調管理誓約フォーム」に必要事項を記入し、登録・送信。それぞれの受付で確認を受ける。

【大会役員（実業団、日本学連）・大会関係者】

▽グーグル・フォーム（Google form）=下記 URL=による「体調管理誓約フォーム」に必要事項を記入し、登録・送信。それぞれの受付で確認を受ける。

以下 URL

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc3qp5-qTCIPUzzku6ujfGbST96Jb0CBtU2CHpEDG3v3ME75g/viewform>

なお、スマートフォンを持っていない方は、紙の体調管理チェックシート（実業団連合、日本学連の各大会 HP に掲載）に記入し、大会当日、それぞれの受付に提出してください。

【報道】

▽紙の体調管理チェックシート（日本学連の大会 HP に掲載中の取材要項参照）に記入し、受付で確認を受けてください。

【神奈川陸協競技役員】

▽紙の体調管理チェックシート（実業団連合、日本学連の各大会 HP にも掲載）に記入し、競技役員受付で確認を受けてください。

【観客】

スタンド入口で検温を実施します。体温 37.5℃以上の方は入場を原則お断りします。検温の際は、直射日光を受けた直後や走ったりした直後は避けて、日陰で少し休んだあとに検温を受けるようにしてください。

厚生労働省のスマートフォン接触確認アプリ「COCOA（ココア）」の利用を推奨します。

■ 3 ■ マスクの適切な着用（熱中症にも注意しながら）

▽ひとと近い距離で対面するときはマスクを着用。周囲にひとがいない場合は適宜マスクを外して熱中症予防にも努めてください。

▽食事中は「黙食」を心がけること。

▽スタンドで周囲にひとがいない場合は、適宜、マスクを外しても差し支えありません。

■ 4 ■ 換気に十分留意

▽競技場内の室内では、こまめな換気を心がけること。

▽各部屋の利用者が当事者意識を持って自覚的に換気に努めること。

■ 5 ■ 「3密」を回避

密集・密接・密閉の状態にならないよう心がけること。

■ 6 ■ 手指消毒・手洗いの励行

■ 7 ■ 声を出しての声援は控えること

観客やチーム関係者の皆さんは、スタンドで観戦する際、周囲にひとがいる場合は、声を出しての応援は控えてください。

■ 8 ■ 指導者（監督・コーチ等）によるコーチングはマスクを着用して

競技中、周囲にひとがいる状態では大きな声を出すことは慎むこと。

■ 9 ■ 競技終了直後の競技者との接し方

競技役員が競技者と接する場合は、常時、マスクを着用します。

フィニッシュ直後に倒れ込んだ競技者がいる場合、原則として、競技役員や大会スタッフは、すぐに助け起こすなどの介助は不要です。距離を置いて様子を見守り、競技者の息が整うのを待ってから、移動を促してください。

ただし、競技者の状況に応じて、迅速な対応が必要と判断される場合は、すみやかに介助をおこないます。

競技者の身体に触れる必要がある場合は、手袋を着用します。対応を終えたあとは手指消毒してください。

■ 10 ■ 表彰（各種目別表彰、閉会式時の表彰）

▽プレゼンター側の大会役員と介添え者はマスクを着用。選手はマスクなしでも可（記念写真撮影の際はマスクを外す）。セレモニー終了後は選手もマスク着

用。

■ 1 1 ■ 競技場との往復でも感染症対策を心がけること

■ 1 2 ■ 万が一、来場後に体調が悪化した場合

競技場に来場後、急に体調不良となり、競技場を引き上げる場合、念のため、公共交通機関の利用は控えてください。

■ 1 3 ■ 濃厚接触者の考え方について 待機期間は「7日間」

(大会参加者共通) 大会前に感染者の濃厚接触者となった場合(その可能性を含め)、自宅などでの待機期間は「7日間」とします。大会までに待機期間を終えることができない場合は、大会への参加を見合わせてください。

政府は7月22日付の新たな対策で、濃厚接触者の待機期間を原則7日間から「5日間」に短縮しましたが、本大会では、従来の「原則7日間」の考え方で運用します。政府の待機期間短縮は、医療・介護現場や企業の欠勤を減らして社会経済活動の維持を目的としたものです。陸上競技などスポーツイベントにおいては、競技中のアスリートなどはマスクを外していることから、待機期間短縮の対象には想定されていないためです。

■ 1 4 ■ 競技中、競技前後のツバ吐きはNG

つい習慣から競技中や競技の前後に無意識にツバを吐いてしまうことがあるかもしれませんが、これはNGです。意識して、ツバを吐かないように心がけてください。